

～ 食べるを支えることは、生きるを支えること ～ 人類の「食べる」と多職種連携

第12回

多職種キャリアアップ研究会

医系学生さんも大歓迎

医療・介護・福祉従事者、行政職の皆さんへ

2026年11月3日(祝) 13:00～16:00

開催地 G-NETしが(近江八幡駅徒歩5分)

滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4 (Web配信はありません)

ケアを必要とするすべての人が、最期まで自分らしく生き抜くことができる社会の実現が求められています。その中において、多くの人の生きる象徴となるのが「食べること」です。在宅において最期まで「食べる」を支えることは、本人の願い、身体の変化、家族の不安、そして支援者の専門性を持ち寄り、「その人にとってのより良い生」を共に模索し続ける営みです。今回の研究会では、最期まで食べることを「本人の生き方」「家族の思い」「ケア提供者の責任と限界」といった多角的な視点から捉え、ケアチームの中でいかに支えていくかを多職種で考察・検討することを目的とします。



第1部

高齢者の「食べる」を読み解く ～医療と生活の有機的連携とは～

公立能登総合病院 歯科口腔外科
部長 長谷 剛志 先生

第2部

滋賀県史上最大級の体験コーナー

- 明日から使える！教えられる！ 口腔体操
- 口腔ケア Update
- 新しい嚥下食の挑戦 など(変更することがあります)

第3部

スモールグループディスカッション

多職種で考える：食支援サポートツール『い～とみるカード』
をつかって、食べることと生きることを、自職種の視点と、
他職種の視点から、リアル症例をもとに、考えてみよう！

参加登録方法は
裏面(2ページ目)をご覧ください

主催
後援

日本プライマリ・ケア連合学会滋賀県支部
滋賀県・滋賀県医師会・滋賀県歯科医師会・滋賀県薬剤師会・滋賀
県理学療法士会・滋賀県作業療法士会・滋賀県言語聴覚士会・滋賀
県看護協会・滋賀県訪問看護ステーション連絡協議会・滋賀県栄養
士会・滋賀県介護支援専門員連絡協議会・滋賀県歯科衛生士会

＊ 日本医師会・日本プライマリ・ケア連合学会認定単位等、申請予定

参加登録方法

現地参加のみです。

「日本プライマリ・ケア連合学会滋賀支部」ホームページにアクセス(下記QRコード参照)、もしくはFAX 0748-57-1147(滋賀家庭医療学センター内)へ送信して下さい。

メールアドレスの誤入力を避けたいので、なるべくメールからのご登録が嬉しいです。

ご不明な点は事務局までお問い合わせください。jpcashiga@gmail.com

【過去の開催の様子です】



申し込みホームページ
QRコード(推奨)

- **第1部** 高齢者の「食べる」には、咀嚼・嚥下・栄養・疾患・薬剤・生活背景など、多くの要素が関わっています。全国で講演されている長谷剛志先生をお招きし、医療と生活をつなぎながら「食べる」を支える視点を学びます。多職種での連携を深め、在宅医療・介護の現場に活かせる実践的な知識を習得できます。
- **第2部** この会の大きな特徴である体験コーナー
今回は、食に関するUpdateな体験を集めました
- **第3部** 第一部の講演を参考に、長谷先生が関わられた実症例をもとに、「い〜とみるカード」を使いながら、多職種少人数のグループにて、より広い視野から、意見交換や議論を深めていきましょう。より良い在宅医療のヒントや知恵・技術の習得、ジブンゴト化の機会となります。